

## 市の財政健全化判断比率

(単位:%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
鶴ヶ島市	—	—	11.90	49.50
早期健全化基準	13.07	18.07	25.00	350.00
財政再建基準	20.00	40.00	35.00	

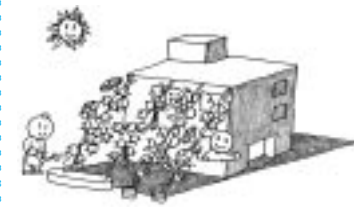
※黒字の場合は一で示しています。

- 実質赤字比率・・・一般会計等の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- 連結実質赤字比率・・・市の全ての会計の実質赤字が標準財政規模に占める割合
- 実質公債費比率・・・市の全ての会計及び一部事務組合等が負担する実質的な公債費が標準財政規模に占める割合
- 将来負担比率・・・公債費や債務負担行為、職員の退職手当など、市の全ての会計や一部事務組合、土地開発公社に係る将来負担すべき債務が標準財政規模に占める割合

※標準財政規模とは、地方公共団体が自由に使える財源の標準的な規模を表します。

## 環境教育推進事業

Q 事業内容について。  
A 学校教育課長 県の委託事業で「地球にいいことチャレンジ事業」という研究に西中学校が希望し、委嘱を受けたものである。内容は、生徒の環境意識の醸成や生徒が参加する環境保全活動の充実に図るもので、具体的な活動



## 特別会計

### 国民健康保険

Q 特定健康診査の実施状況は。

A 保険年金課長 実施計画では、21年度受診率40割を目標としていたが、結果的には受診者数が4421人で33・45割にとどまっている。

Q 医療費適正化への取り組みは。

A 保険年金課長 一般被保険者か退職被保険者かの資格管理の徹底、レセプト点検による請求点数の確認、ジェネリック医薬品の利用促進などに努めている。

### 老人保健

後期高齢者医療制度への移行により、22年度をもって終了します。

### 後期高齢者医療

Q 保険料滞納の状況は。

A 保険年金課長 21年度への滞納繰越は40人で164万5890円となっている。なお、保険証は全員に交付している。

### 介護保険

Q 21年度の歳出の状況は。

A 高齢者福祉課長 前年度と比較して、要介護認定者が103人、7・9割増加しており、これに伴い、保険給付費も8・5割伸びている。

Q 新しい特別養護老人ホーム設置の進捗状況は。

A 高齢者福祉課長 県が窓口で進められているが、21年度に事業者が決まり、上広谷地内に82床の広域型特別養護老人ホームが整備される。22年度に着工し、23年度後半に開設の予定である。

### 一本松土地区画整理事業

Q 仮換地の指定割合が大幅に増加した理由について。

A 区画整理課長 21年3月5日に事業見直しによる区域縮小が完了し、施行面積が42・8畝から15・3畝に縮小された。

それに伴い、施行面積の分母が小さくなったことにより割合が上がったものである。

### 若葉駅西口土地区画整理事業

Q 事業全体の完成年度を更に9年間延伸する事にした背景と財源について。

A 区画整理課長 市財政が厳しい中で、補助金の全額確保が可能な現実性のある実施計画を立案した結果、9年間の延伸としたもので、現在国と県と最終調整をしている。

Q 今後の課題は。

A 区画整理課長 遅れている戸建住宅の建物移転と整備を進めていきたいと考えている。その際、地権者の生活設計に十分配慮し、支障が無いよう取り組んでいきたい。

### 特別会計決算

◇国民健康保険	歳入	62億9176万円	歳出	59億3876万円
◇老人保健	歳入	3162万円	歳出	2302万円
◇後期高齢者医療	歳入	3億5110万円	歳出	3億4762万円
◇介護保険	歳入	23億1920万円	歳出	21億9139万円
◇一本松土地区画整理事業	歳入	2億124万円	歳出	1億9181万円
◇若葉駅西口土地区画整理事業	歳入	3億8056万円	歳出	3億6786万円